

ことぶき俳句会

冬深し夢そだてよと棉の種
 大寒の蒸湯たぎる土瓶かな
 大寒にブルーゲンピリア咲きはこる
 大寒のすき焼きに割る卵かな
 真冬日の窓辺に紅きゼラニウム
 雪原をどこまで走る夜汽車かな
 食べるだけの寒き毎日春遠し
 ふる雪や眉をえがかず紅刷かざ

大山さよ子
 越坂 順子
 徳地はつ子
 橋本 葉子
 福澤 米子
 福原 仁子
 宮部あき子
 高橋 悦子

浦幌短歌会

文明の利器をそろえて過疎になる
 青い鳥達空にはぐれて
 百八つの鐘をつきつつ十才が
 十才らしき質問をする
 六回りの千支を重ねて今こそが
 青春気分日日パソコンにむかう
 枯筆を埋づめつくすに足らぬ雪
 穂の先しかと風に靡けり
 新雪に映える赤い実鳥がくる
 配置転換帰りの道に
 北陸の大雪よそ目に十勝晴
 零下二十度こよなしとする
 着ぶくれて冬越すわれがよみ耽ける
 藤沢周平の時代小説
 空の蒼海の青にも染まらず来て
 我が人生は虹色なりき

米司 好美
 福澤 米子
 長谷川アキ
 山口 恵子
 星 愛子
 後藤 年子
 山崎 阿己
 柴田 弘子

上浦幌句の会

自由吟
 年重ね遅い寒さに感謝して
 松毬を食べる仕ぐさのリス可愛い
 今朝もまたお寒いですが口癖に
 四季巡り早や平成も十八年
 あの世へと無策の犠牲アスベスト
 真冬日に祖母の手造りおでん鍋
 ハウス中ひと汗流し深呼吸
 旧姓を呼ぶ女に惑う半世紀
 クラス会約束されてく京都の友

朝日ヒロエ
 笹島カヨ子
 河村みよ子
 山田 ナツ
 大西 功
 山田エツ子
 福田すま子
 芳川 乙美
 広瀬マサヨ

浦幌川柳会

自由吟
 曲がる背に亡母の着物に袖通す
 人生の綻び互いにくい知恵で
 母逝って聞いておきたい事ばかり
 生命線はげます脳の錆みがく
 負け犬の遠吠えはしゃぐ初春の風
 厚化粧偽証を抱き眉を引く
 ざっと見て猫の数たし肉を切る

橋本 葉子
 阿部 麗紅
 山村 幹雄
 白木二十重
 竹村 鮮明
 星 愛子
 加藤 未貴

みんなの文芸

編集後記

表紙の写真は、町内小学生ス
 ールドスケート大会記録会です。
 小学6年生を対象に「広聴事業
 の一環として、「太陽への手紙」
 と題して、将来の浦幌について
 夢のある視点で作文を書いても
 らいました。以前に実施してい
 た「町長と小学生の青空懇談会」
 に代わる事業です。皆さん、
 どうでしょうか。何かを創造す
 るとき、「そんなことできないよ
 がないから」などと限界論
 がすぐに出ていませんか。創造
 する前にあきらめてしまうこと
 は多くないですか。でも、小学
 生は違います。大人には気付か
 ない視点が、作文には多く秘め
 られています。次号で最優秀作
 品を紹介します。全児童の作品
 は製本して図書館に置く予定で
 す。ぜひご覧ください。（やす）
 掲載された写真は、差し上げ
 ますので（本人または家族）、お
 気軽にご連絡下さい。